

## 算数・国語の勉強は好きですか？(H28 学習状況調査より)

全国学調の結果のうち、「学習意欲」に関わって“喜び”と“落胆”の結果が出ています。算数と国語では反対の結果が出ました。その背景を探るべく、子ども達に理由を尋ねてみると、私たちの実践の強みと弱みが見えてきました。これは、まさに今後の授業改善の“鍵”でもあります。

### (1) 算数の勉強は好きですか？ そう思う＝過半数越え、+どちらかといえばそう思う＝80%越え！

その理由を選ばせたところ、次のような回答がありました。(対象62人・複数回答可)

- ①(31) ペアやグループで考えたり、話したりすることが楽しい。
- ②(28) むずかしい問題を解くことが楽しい。
- ③(27) 答えがはっきりしているから、わかりやすい。
- ④(23) 少人数授業だから、発言する機会が増える。
- ⑤(18) 少人数授業だから、わかるまで教えてもらえる。

自由記述としては、「わからない問題が解けると、気持ちがよく、達成感がある。」  
「近くの人と助け合って、個人→グループという活動が楽しい。」  
「4マスメモや線分図を使うと解きやすい。」 「算数が得意。」

反対に、そう思わない・どちらかといえばそう思わない理由は、次の通りでした。

「式を書くのが面倒。」 「公式を覚えられない。」 「計算が苦手。」

\*これらの結果から、見えてくることは……

- ①子ども達は、少人数授業を肯定的にとらえており、意欲の向上につながっている。
- ②授業づくりで大切にしている「協同的な学び合い」を、子ども達が楽しんでいる。
- ③子ども達に、難しい問題・レベルの高い問題、すなわち、背伸びとジャンプの課題が有効である。
- ④基礎的な力として、子ども達に、計算力や丁寧に取り組む姿勢をつける。

### (2) 国語の勉強は好きですか？ そう思う+どちらかといえばそう思う＝過半数割れ！

その理由を選ばせたところ、次のような回答がありました。(対象62人・複数回答可)

- ①(35) ペアやグループで考えたり、話したりすることが楽しい。
- ②(24) 答えがいろいろあって、1つでないから安心できる。。
- ③(17) 登場人物の気持ちを考えたり、筆者の考えを知ることが楽しい。
- ④( 7) 思いや考えを文章に表すことが楽しい。
- ⑤( 2) むずかしい問題を解くことが楽しい。

自由記述としては、「漢字を覚えるのが楽しい。漢字が得意。」  
「難しい言葉が覚えられ。言葉の意味調べが楽しい。」  
「物語を読むのが楽しい。」 「読書が好き。」  
「意見を交流し、討論するのが楽しい。」 「友達の意見を聞ける。」  
「敬語は、将来の役に立つ。」 「作文を書くのが好き。」

反対に、そう思わない・どちらかといえばそう思わない理由は、次の通りでした。

「漢字や言葉を覚えるのが苦手。」 「漢字の読み書きが苦手。」 「答えが色々あって迷う。」  
「登場人物の気持ちを考えるのが苦手。」 「あまり本を読まない。」 「本を読むのが苦手。」  
「思いや考えを文章に表すのが苦手。」 「説明文を書くのが苦手。」

\*これらの結果から、見えてくることは……

- ①授業づくりで大切にしている「協同的な学び合い」を、子ども達が楽しんでいる。
- ②「書く力」を育む取り組みに、もっと達成感や満足感を持たせたい。
- ③国語の学習は、好き嫌い・得手不得手が別れてしまいやすい。

このことから、本校の「学び重視型算数科少人数指導」は学習意欲を高め、難しい課題への挑戦する姿勢につながっているとと言えます。さらに、教科によらず「協同的な学び合い」を楽しんでいる姿も伺えますので、アクティブラーニングの視点からも、現在の実践を一層強化していきたいと思えます。

一方で、基礎基本の徹底や丁寧に粘り強く取り組む姿勢を重視すると共に、「書く」活動においては、相手意識・目的意識を持たせる取り組みや、書いたものを評価し合い達成感を高める取り組みも、さらに大切にしなければなりません。